

第 17 回北九州市迷惑行為防止推進協議会議事録

■日 時：平成 26 年 8 月 25 日 14:00～15:50

■場 所：北九州市立商工貿易会館 601 会議室

■出席委員：8 名（50 音順、敬称略）

太田、大坪、緒方、加藤、桑島、後藤、二郎丸、樋口
欠席者 2 名

■全体進行：安全・安心都市整備課長

■内 容：

- 1 開 会 委員、出席者紹介
開会挨拶（市民文化スポーツ局安全・安心担当理事）
- 2 会長、副会長選出
事務局案（会長：大坪氏、副会長：加藤氏）を承認。
- 3 諮問書渡し
- 4 議事審議（審議、意見交換進行：大坪会長）
議案説明及び質疑応答
- 5 意見交換
議案質疑応答及び意見交換の内容は以下、審議記録のとおり
委員の意見を踏まえ、次回、計画案として示すことで、全会了承。
- 5 閉 会

審議記録（要旨）

I 議事（1）～（6）について質疑応答

1 過料適用件数と路上喫煙率について

【委員質問】

- 説明項目中路上喫煙率について、黒崎では 24 年度から 25 年度にかけて過料適用が増えているが、その理由は。
- 路上喫煙率は変わらないのに、適用件数だけが増えているのは疑問に感じる。
今年の結果を見ないと何ともいえないが、気になる。

【事務局】人の流れが変わったと考える。

平成 25 年 5 月に八幡西区役所が黒崎駅前に移転し、これまで重点地区に来ていなかった人が、駅周辺に来ているのではないかと考えている。

このため、街頭キャンペーンの活動やポスター掲示の増設など対策を行ってきた。今後も過料適用状況を見ながら様々な対策を講じていきたい。

一方、路上喫煙率は、重点地区内や周辺の計 10 箇所のカウント結果であるが、喫煙率そのものは増えてはいない。

○黒崎駅では、清掃の方もいるので、喫煙率下がっているのかと感じる。

重点地区には熊手郵便局まで入っているが、最近、特に商店街やカムズ通りの人通りは少ないようなので、過料の適用件数が増えているのは、何故か。過料を適用する巡視員の巡回日数が増えたとかはないのか。

○巡回指導は毎日実施しているのか。

【事務局】 巡視日数は極端には変わらない

黒崎・小倉の巡視日数は当初から週5日程度と変わっていない。

過料適用件数は、巡視員が回って、喫煙を現認した人に科す、その人数であり、路上喫煙率は、重点地区を含む10箇所のポイントで通行量と喫煙者数を調査して算定した数値である。

過料適用件数は喫煙率と直接連動したものではなく、路上喫煙率の低下は、活動の効果の表れと考えている。

○コムシティにハローワークも入り、いろいろな地域から人が来ている。

ふれあい通りの道を挟んだ向こう側にひびしんホールや図書館など新しい施設ができているので、そちらの通行量が増えているのではないか。

重点地域の区域修正という意味で、まさにその辺りが、議論すべき点。

2 市民意識調査について

【委員質問】

○市民意識調査の結果について、アンケート対象は どんな方で、どのくらいで、平成17年度と25年度では対象者は変わっているのかを知りたい。

【事務局】 住民基本台帳を元に等間隔で抽出した3000人、有効回答数は1395人、その結果を冊子にまとめている。

【大坪会長】 市民意識調査は、毎年この項目を調査しているのではない。

平成25年度の調査項目として、モラルマナーをお願いしていたところ、採択されたため、前回の平成17年度の調査と比較することができたと聞いている。

II 意見交換

【大坪会長 導入】

今回の調査結果も踏まえながら、新しい5カ年計画の議論を進めていくことになるので、ここから意見交換としたい。

黒崎地区の人の流れも変わってきたので重点地区のエリアを検討したほうがいいとの意見もいただいたので、今後どのような項目を取り入れていくのか、どこに力を入れていくのかといったことを、遠慮なく発言して欲しい。

●重点地区の見直しについて

- 重点地区の見直しになるが、小倉駅北側に球技場ができるため、人の流れが変わる。
日本のサポーターがごみを持って帰ったことが世界で評価された。
重点地区にするか、推進地区にするかサポーターを取り込んで何かするか、具体的提案できないが、球技場ができる前に、5年間の計画の中に入れてはどうか提案したい。

●啓発について

- 子どもの標語コンクールではすばらしい標語ができています。これをうまく生かしたい。
大人からも標語を募集するとか啓発をしてはどうか。
- 最近特にお年寄りが横断歩道を渡らない。勇気を持って注意をしてあげるなど実践が大事であり、標語を生かしていけたらいい。貼っておくだけではもったいないので、家庭教育学級で読むとか、老人会の会合で読むとかできたらいいと思う。
- 表彰は屋内ではなく、親子で来ているような場所とするのが効果的。勝山公園などでは、子どもだけの姿は見ない。親も一緒に来ている。
- 意識を変えることがまず一番大切なので、イベントをこれでもかというほど続けるしかない。めんどうとか、自分ひとりくらいとかいう意識の人が多い。
生ごみの出し方のモラルが守られていないと感じる。一人が守らないと、その地域全体の人が悪く見られるのは悲しい。北九州全体のイメージに繋がっていく。
大人の中には誰も見てないからと車の中から吸殻やごみをなげすてたりする人がいる。
大人への啓発活動を続けていく必要がある。
- タバコやごみのポイ捨てなど、モラルのない時代になっている。大人の啓発には、目を光らせているというアピールが大切と感じる。交差点で停車した車からごみが捨てられている。大きな交差点では正面の目立つところに何か標示をしてはどうか。

●施設整備について

- ローラースケートは見かけなくなったが、自転車ですっと脇を通るのは怖い。宮崎市は歩道を広く、歩道の中に自転車道を設けて色分けをしている。
小倉では狭いところを自転車が通っている。北九州も最近増えてきてはいるが、自転車が安全に通れる道路を整備して欲しい。

【大坪会長】 都市計画に係るものになってくるが、何らかの形で、ハード面の整備を希望していることを伝えられるよう事務局と相談していきたい。

【事務局】 市民意識調査の結果で、14の迷惑行為以外に感じる迷惑行為として、「ながら運転」が挙がっており、これには自転車もかなり入っていると思われる。新たに迷惑と感ずる行為として自転車、自動車に関するものが出てきている。

●迷惑行為について

○14の迷惑行為で主な関係条例等の欄が空欄になっているところは、法律がないということか。

○迷惑行為として縛りを増やしていくのは窮屈と感ずるが、命に係ることになれば迷惑行為を追加していくことも仕方ないかもしれない。矛盾はするが、自転車のことや携帯電話の「ながら運転」は怖いと感ずるので、この辺りを入れていくのかどうか考えていかなければいけない。

【事務局】 現在の迷惑行為の中の迷惑運転には自転車も含まれる。

自転車の危険行為はすでに条例に入っているが、チラシの中に絵がない。自転車の迷惑走行も、ご意見をいただきながら、見えるような形にしていきたい。

イヤホンにより大音量で音楽等を聞きながらの自転車運転も福岡県道路交通法施行細則という法律で危険行為とされ、罰金5万円となっている。平成24年度に規定したもので、社会状況も変化している。

○4つの迷惑行為以外の迷惑行為には過料の適用はないのか。

【事務局】 重点地区内では4つの迷惑行為に対して、市が直接過料適用ができるようになっているが、その他の迷惑行為については適用できない。

一方、道路交通法など別途法律の規定があるものはそちらで規制できる。

例えば、放置自転車や迷惑駐車などについてであるが、路上喫煙など4つの迷惑行為については、いわゆるモラル条例とその関連条例において、過料が適用できるようにした。

●広報について

○全国で何位とか、順位が付くと関心が高まる。市政だよりなどに掲載して広報してはどうか。関心が高まれば、市民全体の意識も変わり市民の誇りにも繋がっていけばいい。

○以前子どもが出演したDVDを作成しているが、もっと見ていただきたいし、第2弾をつくる企画はないのか。目で見るといいと思う。

○DVDについては、親たち大人も見ると、これが、北九州だけでなく日本全国に広まったらいい。

DVDを見てもらうのに、YouTube を利用してはどうか。Face Book も有効と思う。

●取組みの進め方について

○北九州市という大きな枠組で取組む一方、草の根的に地域や町内といったコミュニティの中での取組みも進めていくべきと思う。

○重点地区の過料適用のように、厳しくすべきところはすべきとは思っているので、どこが重点地区なのか、タバコ以外何が迷惑行為なのかとか、市民が知っているのか、知らないようならしっかり告知をすることが必要だ。

●その他

○脱法ハーブの問題について、北九州は多いと聞くので、状況を知りたい。

【警察】現在は危険ドラッグとっている。法律が次々に追加されているが、そのハーブが違法なものであるかどうか鑑定しなければならない。

まだ、情報が少ないというのが実情。

【大坪会長まとめ】

たくさんの次回基本計画へのアイデアをいただいた。

- ・重点地区の取組みを周知すること
- ・新しい迷惑行為としての自転車は、従来の迷惑行為の中で取り扱うことができるが、目立つような形にしていくこと
- ・基本は啓発活動なので、大人、子どもへの地道な啓発が弱まらないように続けていくような計画とし、できれば、小さな単位、自治会単位での取組みを促す仕組み、誇りを持って取組めるような仕組みを考えること
- ・悪いことを減らし、いいところをPRしていく視点を加えて、次回の計画を考えたい。

今日の意見をまとめて、次回案として示したいと考えているので、今日、出されなかった意見もあれば次回ぜひお願いしたい。